



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 芳賀 裕
ガバナー補佐 西川 博 美
会長 千葉 政 行
幹事 石川 邦 俊

1. 人々が手を取り合うのを促そう。
 2. 行動しよう。
 3. ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
 4. あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。
- 「復興フォーラム(仮称)への支援と協力

[ロータリー特別月間]
 2月は平和構築と紛争予防月間

2019-2020年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433
 ジャクター・ロータリークラブ (アメリカ・アラバマ州)

世界理解と平和週間(2月23日から3月1日)

通算

第32回 [2999] 例会報告 令和2年(2020)2月27日(木)

出席委員会報告

会員総数	40名
出席会員	26名
欠席会員	14名
出席率	65%

言行はこれに照らしてから「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- ◆開会点鐘 村上裕司 副会長
- ◆ロータリーソング [手に手つないで] 菅野浩司 会員
- ◆四つのテストの唱和 渡辺達也 職業奉仕委員長

🎵 今週の誕生日 🎵 2月28日 中島定宏 会員 🎵

lunch time



本日のランチ

◆副会長あいさつ 村上裕司 副会長



今日は今回で3回目の練習期間中の副会長の時間ということでただいております。また、勉強させていただきながらお話をさせていただきます。まずは、先日の親睦旅行には多数の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。天気にも恵まれて、事故も無く帰ってきたのですが、一番の思い出は生田目会員がわんこそばを100杯食べて表彰された事です。大変楽しく、一泊二日の旅行を無事戻ってまいりました。また、多数のご協力ご協賛をいただきまして、ありがとうございました。

コロナウィルスについて、色々な団体や飲食店などでも注意喚起が行われております。手洗いうがいと出来る事から注意し、健康で次回例会もご参加いただければと思います。

◆幹事報告 石川邦俊 幹事

- A. 月信 「ロータリーの友」3月号
- B. 来信

- ①ガバナーエレクト 石黒秀司 氏より 「会長エレクト研修セミナー (PETS) の案内」 2月29日(土)～15日(日) ところ ホテル華の湯
- ②ガバナー 芳賀 裕 氏より 「新型コロナウィルス対応について開催時期及び中止の案内」 2月29日(土) 米山記念奨学生修了式 3月28日(土) ロータリーリーダーシップ研修会 5月9日(土) ロータリーリーダーシップ研修会
- ③福島しんたつロータリークラブより 「2019-20年度東北第二分区分区インターシティミーティング報告書」 開催日 2019年8月26日

C. メーキャップ報告

- 2/7 銀座新RC 安齋忠作 会員
- 2/21 福島東RC創立45周年記念式典 千葉政行、石川邦俊 各会員
- 2/22 地区行事 佐藤喜市郎、佐藤真也 各会員

◆松島焼牡蠣食べ放題と気仙沼・平泉・花巻周遊2日間家族同伴親睦旅行の報告 紺野容樹 委員長



2月16日17日の2日間にわたって21名の会員ご家族の皆様のご参加をいただきまして、牡蠣食べ放題及び気仙沼・平泉・花巻周遊というところで行ってまいりました。うみの杜水族館では魚の生態を勉強し、キンピール仙台工場では醸造学を勉強して、牡蠣食べ放題では、うちの娘が去年生田目会員に負け悔しかったので、リベンジしようとしたのですが、コテンパにやられました。2日目の平泉金色堂ではガイドさんに説明を受けながらまわりまして、酒蔵ではお酒の試飲をし、金婚亭では生田目会員が100杯食べて表彰を受け、高村山荘・高村光太郎記念館では芸術について勉強してまいりました。非常に内容の濃い、濃密な旅行で楽しく回って来ました。また、大内会員、佐藤喜市郎会員、菅野浩司会員からは多大なるお心付けをいただきまして、無事にまわって来れましたのも、ひとえに皆様方のおかげだと思っております。ありがとうございました。

◆スマイリングBOX 鈴木牧子 委員 【合計3-29】《年月計比較▲3-76》

- 菅野 浩司会員 H 前回欠席お詫び(旅行) 本日は斎藤等会員のスピーチ楽しみにしております。よろしくお願いたします。
- 大内 勝行会員 H 前回の欠席お詫びと斎藤さんのスピーチ楽しみにしています。
- 石川 邦俊会員 S 斎藤等会員のスピーチたのしみしています。
- 佐藤喜市郎会員 S 妻に誕生日のお花をいただいて
- 小笠原尚史会員 S 妻に誕生日お花ありがとうございました。
- 鈴木 牧子会員 S 会員スピーチ頑張ってください。早退で申し訳ございません。
- 中野 哲郎会員 T 斎藤会員のスピーチ楽しみにしています。
- 斎藤 孝裕会員 T 斎藤さん、新会員スピーチありがとうございました。研修旅行、お世話になりました。
- 丹野純子事務局 T 旅行とても楽しかったです。参加させていただきありがとうございました。
- 渡辺 哲也会員 I 申し訳ありません。県議会のため、来週から3回連続で例会を欠席致します。



スマイリング報告

◆ロータリー情報委員会、SAAからの報告 佐藤真也 委員長



まず、ロータリー情報委員会より、本日お配りしたロータリーの友3月号は必ずお目通し下さい。この43ページには、次年度のRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」やマークも発表になりました。これから次年度会長がPETSを受け、動き出しますので、次年度役員の皆様も次年度に向けての準備をしていただきたいと思います。宜しくお願ひいたします。また、ロータリーの友2月号には、ポリオデーの特集に昨年の地区大会でご協力いただいた「END POLIO」の活動も掲載されましたので、ご覧いただきたいと思ひます。SAAとして、皆様お忙しい中ですが、予定が変更になり欠席する場合は忘れずに事務局にご連絡いただきたいと思ひます。ご協力をお願いいたします。また、2月23日は天皇誕生日ですが、ロータリーの創立記念日でもあります。ロータリアンとしてはお見知り置きをお願いいたします。

◆新会員スピーチ

齋藤 等 会員



本日はスピーチということで非常に緊張しております。スピーチの内容ですが自己紹介を含めながら、今まで自分が経験しました事を少し述べさせていただきます。宜しくお願ひいたします。

私は昭和40年に現在の伊達市保原町で生まれました。両親が保原でクリーニング店をやっており、私は長男ということで、家業を継ぐために高校には行かず、16歳から19歳までの3年間は、東京にクリーニングの修行に行っておりました。最後の1年間はクリーニングの専門学校に行き、最終的にクリーニング士の国家試験を所得しました。東京での修行を終え、19歳で保原に戻ったのですが、自分も若かったので、約10年間は自分の好きな事をやりたいと思ひ、私はオートバイが大好きで、当時の宮城県にあるスポーツランド菅生でレース活動をしました。私はツーサイクルが好きで、一般のバイク屋さんで売っている市販車をサーキットに持ち込んで乗るのですが、ヘッドライトやウィンカー、ミラーを外す規則があって、当時は1周2キロくらいでしょうか、そこを1分十数秒で、速度にすると一番スピードが遅いヘアピンコースで60キロから70キロ、一番スピードの乗るところは約200キロで走っておりました。レースでは決勝レースで走れるのが当時32人で、ちなみに私が乗っていた250ccクラスは最大で約166人いて、前日の予選での一番良いタイムが予選タイムになり、それで決勝レースに32台だけ出場します。私はぎりぎりくらいなのですが、そのタイムの1秒間の間にマックスで20人ほどいるのです。ちょっとしたブレーキやアクセルの開けるタイミングで翌日の決勝レースが走れないというような活動を約2年やっておりました。自分では本気になってやっていたのですが、私の順位で最高は19位でした。その時にレーシングカートというのを一時やっており、初めてレースに出て初優勝しました。レース活動には大金がかかるので、それで借金を作ってしまい、どうやって返そうかと思ひ、これはトラックに乗るしかないのかなど地元の運送屋で働きました。その後は東京の福山通運で働いていましたが、当時の佐川急便は、男の人で一番稼げる会社でしたので、思い切って佐川急便に入りました。当時は入りたいたいと言ってもすぐに入れるわけではなくて、入る条件が3カ月間の夜勤と新人研修を受けることでした。江ノ島に研修所があって、そこに1週間行って、朝5時に起きて江ノ島の海に向かって佐川の社歌を大きな声で歌ったり、専用の自動車学校でトラックの運転を覚えたり、ロータリーの「4つのテスト」のように、「10個のテスト」のようなものがあるのを覚えたりと、歌や十項目の試験、トラックの試験があり、本当にきつい新人研修でした。それを終えて、自分の所属する店に戻ってくるのですが、まずやる事が大型トラックの荷下ろしなのです。大型1台は30分で下ろさなくてはなりません。3台やったらへとへとになって、研修が終わってドライバーになるまでは、それを1週間くらいやらされます。それで辞める方もいるくらいすごいです。いよいよセールスドライバーになって、先輩の脇に座って3週間くらい一緒に乗るのですが、積み込みやローラーから流れてくる荷物で戦争のようでした。自分が一本立ちすると、不安もあるし、配達も終わらず、最初の1カ月くらいは昼飯を食べる時間ありませんでした。当時の自分は24歳でしたが、佐川の初任給は55万円もらえました。3か月後に60万円、1年後は80万円、年収は1000万円を越しました。はっきり言って20代で1000万円稼げる職種はなかったので、誰一人何か言う人はいませんでした。私は福島から東京に行っているんで、「福島の意地」というものもあり、ましてや田舎者とと言われていたので、負けてられないという意地があって、私がいた営業所には100名以上いましたが、売り上げは常に6位以内で頑張っていました。今まで働いた中では佐川というのは一番きつかったですが、思い出に残る所でした。そこで働いてお金を貯めて、最終的にはうちに帰るのですが、自分で仕事をするというので、機械を揃えて、軌道に乗ってきつあったところで、飯坂から始まったかわかりませんが、26年前に連続放火事件があり、保原でも8件か9件あって、その時期にうちも放火され、クリーニング屋をやっていたのであつという間に燃えてしまつて、その場所は親の代から始めた場所だったので、当時はその場所でもできたのですが、火事も起きたのでその場所ではもうできないとなり、悩んでクリーニング屋は断念し、佐川の経験もあったので今の仕事に就きました。

私は今の仕事が25年です。うちの会社は日本軽貨物と言いますが、佐川急便あがりの人が結構いて、偉い方はほとんど佐川急便あがりの人で、それで入つて3か月で福島営業所の所長をやってくれないかと言われて、所長になり、一年後に自分の会社にして今現在に至ります。現在は私の仕事はお客様の要望に応じた配送をします。例えば、普通の運送便であれば、今日出して明日着とかありますが、私がやっているのは、夜中にならないといないとか、どうしても明日の朝一に着けてくれとか、そういう風な仕事を現在やっております。ちょうど時間となりましたのでこの辺で、ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 副会長